

個別課題:医療用麻薬の自己管理件数
(令和元年7月1日~12月末日)

施設名:	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
54 大阪鉄道病院	<p>前年度実績:レスキュー使用患者61件で、うち7件が自己管理患者 昨年度目標12件としたが、未達成であった 目標:10件</p>	<p>①リンクナースにレスキュー自己管理の利点や方法を再度説明する。 ②レスキューの自己管理可能な患者の抽出をリンクナースに依頼する。 ③病棟担当の薬剤師からレスキュー薬自己管理対象者がいる場合はPCTに連絡してもらえるようなシステム作りを行う。 ④緩和ケアチームラウンド時に、レスキュー自己管理が必要かつ可能な患者か確認し、対象であれば自己管理を勧めるようアドバイスする。 ⑤毎月の緩和ケアリンクナース会議で、各部署でレスキュー自己管理できた患者の報告を行う。</p>	<p>・自己管理件数8件(4階4件、6階2件、8階2件)と目標達成に至らなかった。 ・自己管理にできなかった理由をリンクナース会議で抽出したところ、認知機能上、自己管理が困難であったり、麻薬事故につながるのではないかとスタッフが不安を感じたり、レスキュー薬自己管理に関してスタッフの認識が浅かったことなどが理由として挙げた。</p>	<p>・リンクナースのみではなく、レスキュー薬自己管理の利点、欠点について定期的に看護師に広く伝えていく。 ・自己管理件数を増やすことが目的ではなく、自己管理が適切かどうか、アセスメントができていないかどうかを確認することが必要であると周知し、レスキュー使用患者のアセスメント件数が増えるように取り込んでいく。</p>